

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
1	中川原	R7. 8. 16	12その他	町の財政状況	給食費無償化について、助かる面もあるが、松前町の財政が大丈夫か気になる。	財政課	学校給食費の無償化は、国の制度化に先立ち、財源の裏付けを行った上で町独自の事業として実施しています。令和7年度は町税収入及び地方交付税の増収を見込んでいるほか、ふるさと納税寄附金の大幅な増収を見込んでおり、これら一般財源の増収に裏付けされた事業として予算化をしています。 現在、国において学校給食費の無償化の検討が進められており、早ければ令和8年度から開始されることとなります。全国市長会・町村会等を通じて、どこの街で育っても等しく支援が受けられるよう、ナショナルスタンダードとしての実施を国に要望しているところです。また、国で実施されることとなれば、本町のように先行して実施している自治体は財政負担の軽減にもつながります。 引き続き、国の動向に注視しつつ、町財政の負担を考慮しながら持続可能な事業として安定的に取り組んでまいります。
2	中川原	R7. 8. 16	05子育て	放課後児童クラブの開始時間	放課後児童クラブは、長期休業期間中、8時開始だが、8時は正社員で働いていると送りが間に合わない。	子育て支援課	現在の人員では、午前8時より前の開所に対応できないのが実情です。支援員の確保に努めるとともに、シフト制など勤務体制の柔軟化により開所時間を早めることができないか検討してまいります。
3	中川原	R7. 8. 16	05子育て	保育所の預かり時間	保育所について、土曜日は半日しか預けられず、託児所と併用する必要がある出てくる。迎えに行く時間も18時15分のところだと、終業後、移動しても間に合わない。	福祉課	これまで保育士のマンパワー不足により土曜日の1日保育に対応できていませんでした。今年度からの開始は困難ですが、令和8年度からの開始に向け、十分な保育士数の確保に努めつつ現在準備を進めているところです。9月議会において条例改正もいたしました。 また、お迎え時間の延長については、保育所で働く保育士の方々のワークライフバランスにも影響を及ぼすことから、現場の声を聞きながら対応可能なシフトが組めないかなど検討し、双方にとって良い体制となるよう努めてまいります。
4	中川原	R7. 8. 16	10広報活動	LINE公式アカウントの返信窓口	LINEについて、返信窓口があったらよい。問い合わせがLINEから届くようにしてほしい。	総務課	LINEのチャットを使った問い合わせではありませんが、LINEの画面下に表示される公式HPからアクセスし、画面下までスクロールすることで、メールでの問い合わせ画面にすすむことができます。 なお、LINEでチャットを使って問い合わせをできるようにするには、LINEを常にチェックして、回答をする職員が必須となります。また、AIによる自動回答は、現在町が加入しているプランでは、対応していません。 まずは、情報発信によりLINE公式アカウントの登録者数を増やすことを重視し、問い合わせのニーズが増えてきた段階で、必要性や有効性、費用対効果を踏まえて、どのような方法で対応できるか総合的に判断したいと考えております。 それまでの間は、電話やメールでのお問い合わせをいただきますよう、御理解と御協力をお願い申し上げます。
5	中川原	R7. 8. 16	06学校	プール指導の委託について	中学校のプールについて、委託となったが回数が減ったのは子どもがちょっとつらいと言っていた。また、小学校プールについてもいずれなるのか。	学校教育課	将来的なプールの維持管理・更新コストを検討し、今年度から中学校の水泳指導を民間委託しました。また、スイミングクラブに委託することで、専門家による指導が受けられるようになり、指導の質の向上につながっています。回数につきましては、指導カリキュラムで定められた必要量は確保しております。 小学校については、人数が多いため、町内のスイミングクラブでの受け入れが難しい状況です。

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
6	中川原	R7. 8. 16	05子育て	病児保育の場所	病児保育の場所を増やしてほしい。町内に小児科が一つしかないのだ。	子育て支援課	他市町において、保育所や幼稚園内で病児保育を実施している事例もありますが、町内の保育施設は空き部屋がなく、在園児への感染リスクもあり、保育所等への併設は難しい状況です。また、建設や人員の確保に多くの費用がかかるため、現時点では病児保育施設を増設することができておりません。病児保育施設の増設については、医師会等と連携しながら、町内に増設できないか研究してまいります。
7	中川原	R7. 8. 16	12その他	公園の犬の立ち入りについて	松前公園には、犬が立ち入り禁止の看板が立っている。マナーを守って、うんちとかの処理をすれば大丈夫となっていると思うが、そもそも看板が心苦しい。看板の内容を変えてほしい。	社会教育課	公共施設である松前公園は、皆様に安心して御利用いただけることが大切だと思います。松前公園には様々な目的で大勢の方にお越しいただいております。例えば、その中に犬が嫌いな方がいらっしゃった場合に嫌悪感を抱かれたり、幼児等との事故や犬同士の事故やトラブルが発生することも懸念されます。また、糞や尿の排泄については、適切に始末したとしても衛生的に問題があります。このような理由から、一般的には公園施設は犬の散歩は禁止されていることが多く、松前公園においてもお断りさせていただいております。何卒ご理解くださいますようお願いいたします。
8	中川原	R7. 8. 16	01防災	避難所にペットを連れていくことについて	避難所にペットは連れて行けるか。	危機管理課	避難施設内への持ち込みは、アレルギーをお持ちの方等もおられることから原則禁止ですが、避難所敷地内にペット専用のスペースを設けることで同行避難していただけるよう対応しています。
9	中川原	R7. 8. 16	05子育て	出産世帯応援事業補助金の申請期間	出産世帯応援事業補助金について、4月4日生まれの子どもがいるが、要綱があるので3月（前年度）に買ったものは申請できませんと言われた。調べると西条市や松山市、伊予市などほかの市ではできている。最終的に暫定措置で認めてはもらったが、出産は数カ月前から準備するので、他市のように、母子手帳交付日からの購入分を最初から認めてほしい。	子育て支援課	県との連携事業ではあるものの、各市町の判断になっている部分があり、本町では事業開始時から年度で申請を区切って実施しています。また、県に対し、補助要件等、県下一律の実施ができないか要望しているところです。 御指摘の点につきましては、県の動向や他市町の状況を踏まえ、令和8年度は申請期間の見直しを行いたいと考えています。
10	中川原	R7. 8. 16	11文化・歴史	アリーナ建設について	アリーナを整備してほしい。	財政課	アリーナの整備は、多額の経費を要することから町単独での実現は困難です。しかしながら、アリーナはスポーツエンターテイメントを通じた地域活性化の起爆剤となる可能性のあるものであり、アリーナ整備を検討している民間事業者と連携することができれば実現可能性はあるかもしれません。可能性を模索してまいりたいと思います。
11	中川原	R7. 8. 16	02道路・交通・建物	重信川の堤防強化について	重信川について、川底がすごい上がっている。線状降水帯など発生したら、逃げるところがない。	まちづくり課 危機管理課	重信川の堤防強化は国事業であることから、国土交通省に強く要望しているところです。スピード感をもって工事を進めていただいております。松前町内総延長のうち残り4割程度のところまで改修工事が完了しています。また、国土交通省に対し、堤防強化と平行して河道掘削についても要望しているところです。 なお、国土交通省松山河川国道事務所に確認したところ、今年5月に砥部町の合流点部分で河床掘削を実施したとのことでした。今後も、掘削箇所を選定し、引き続き工事を行っていくとのこと。 線状降水帯発生の有無に関わらず大雨となる可能性が高い場合、町の避難所を開設することがありますので、日頃から気象情報等を確認し、事前避難を心がけていただきますようお願いいたします。
12	中川原	R7. 8. 16	06学校	金管バンドの楽器について	松山市民会館で金管バンドフェスティバルがあった。北伊予と比べて、ほかの学校の楽器がピカピカでいいなと思った。北伊予の演奏もすばらしかったが、楽器が古いままなので、新しくしてほしい。	学校教育課	金管バンド活動は、授業時間外の課外活動であり、他の習い事との公平性の観点から金管バンドだけに優先的に財政支援することは困難です。使用している楽器はメンテナンスを適切に行い、音質を保って使用できる状態を維持するよう努めておりますので、年数を経ている楽器であっても愛着をもってお使いいただければと思います。

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
13	中川原	R7. 8. 16	02道路・交通・建物	橋の設置について	中川原橋が渋滞しすぎる。環状線が開通してよくなるかと思ったがあまり変わらない。橋をもう1本つくってほしい。	まちづくり課	中川原橋付近の渋滞は、松山外環状道路開通後、渋滞の長さや継続時間は大幅に改善されていますが、時間帯によっては依然渋滞が発生していることは認識しています。当該箇所は、愛媛県渋滞対策協議会においても主要渋滞箇所に位置付けられており、現在は継続的にモニタリングを行い、信号現示の調整などのソフト対策を行うこととされていることから、その効果を見極める必要があると考えています。
14	中川原	R7. 8. 16	02道路・交通・建物	街灯の設置について	ヒカリのアトリエから一本中に入ったあたりが暗いので街灯をつけてほしい。	まちづくり課	防犯灯は、地域の皆様の防犯や安全確保を目的として、地域からの御要望に基づいて設置されているもので、「地域主体の安全活動」として、設置と修繕は町が負担し、電気代は各自治会に御負担いただいております。大字で必要な個所を取りまとめていただき、御要望していただければと思います。
15	中川原	R7. 8. 16	12その他	手続のオンライン化について	オンラインで手続できるものが増えてほしい。	財政課	順次、電子申請できる手続きを増やしているところです。松前町ホームページや、公式LINEからも利用できます。また、現在、電子申請システムにキャッシュレス決済機能を追加するための準備も進めています。
16	中川原	R7. 8. 16	02道路・交通・建物	役場入口交差点の右折可信号	役場入口交差点は、県道からは右折可の信号がないためいつも渋滞している。	まちづくり課	当交差点は、愛媛県渋滞対策協議会において主要渋滞箇所に位置付けられており、時間帯によっては渋滞が発生していると認識していますので、同協議会に要望してまいります。
17	中川原	R7. 8. 16	04環境	ペットボトルのごみ回収	ペットボトルや缶のごみ回収の回数を増やしてほしい。	町民課	ペットボトルや缶の回収頻度については、「回収日までに置き場がいっぱいになる」「保管場所に困る」といったお声もあることを、私たちも承知しています。一方で、回収頻度を現在より増やすことについては、回収車の運行回数の増加に伴う燃料代や人件費、リサイクルの選別や清掃にかかる作業の負担増など、多くの課題があります。そのため、現状ではすぐに週1回等へ回数を増やすことは難しい状況です。ただし、頂いた御意見は今後の資源ごみ回収のあり方を検討する上で大切なものと考えています。御不便を少しでも減らすため、回収拠点の利便性向上や、御家庭での一時保管の工夫などについて情報提供を行うなど、できることから取り組んでまいります。
18	中川原	R7. 8. 16	05子育て	ひよこたん池公園の駐車場	桜の時期のひよこたん池はすごい人が集まるが、駐車場が少ない。中川原コミュニティ広場を一時的に駐車場にしたり対応できないか。なお、このことを区長に伝えてみたところ、町の土地だから区長の一存ではできないといわれた。	町民課	コミュニティ広場の土地の名義は町ですが、広場の管理運営については、覚書をかわし地域で行っていただいておりますので、一時的な駐車場での使用等、弾力的な運用については地域の判断で実施していただいて問題ありません。

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
19	中川原	R7. 8. 16	05子育て	年度途中の保育所入所等	年度途中では、保育園に空きがなくて入れない。保育料を払って園の最年少クラスに入っているが、4月生まれの子どもと比べて損をしている。保育所の受け入れを増やしたり、1人目から幼稚園枠で預けたときに補助があったりできないか。	子育て支援課	保育料等の無償化について、現在、国の制度により、2号認定（保育所3.4.5歳児）と1号認定（幼稚園3.4.5歳児）は無償化の対象となっています。3号認定（保育所0.1.2歳児）については無償化になっていませんが、各市町の施策によっては2人目半額、3人目無償といった対応が取られています。本町では、経済的理由で第2子以降の出産を諦めることがないよう、多子世帯の経済的負担を軽減するため、令和6年度から保育の必要性がある3号認定（保育所0.1.2歳児）のうち第2子以降の保育料を無償化の対象としています。 保育所の児童受入れ数につきましては、受け入れ数を増やすため保育士確保に努めているところです。今後も、保育所の入所希望に添えるよう努めてまいります。
20	中川原	R7. 8. 16	05子育て	児童施設の拡充	福祉センターは、曜日とか時間も決まっていて、町外のお友だちと一緒に利用しにくく、日曜も休みである。児童館は岡田校区、福祉センターは松前校区にあるが、北伊予校区には施設がない。	子育て支援課	北伊予校区にも児童館を建設したいところですが、建設費や人員確保に多くの費用がかかるため、実現は難しい状況です。 現在、東公民館を多世代が交流できる場所として活用できないか検討を進めています。既存施設を生かし、コストをかけずに子どもたちも高齢者の皆さんも集える場所を作っていきたいと考えています。
21	中川原	R7. 8. 16	07高齢者	高齢者向け施策	若者向けの施設だけでなく、高齢者向けの施設を作るなど、高齢者向けの施策もお願いしたい。	健康課 財政課	今年度、民間事業者を募集し、新たに広域の高齢者福祉施設の建設が決まりました。令和8年度中には高齢者福祉施設が誕生する予定です。 また、このほかにも今年度から带状疱疹ワクチンの補助を開始したほか、10月から3ヶ月間デマンドタクシーの実証運行を行います。 このデマンドタクシーでは自宅から町内の目的地に直接移動できる運行方式を採用しており、今回の実証運行を経て、令和8年度の本格導入を目指しています。 このほか、現在運行しているひまわりバスのダイヤ改正やルートの見直しを進め、高齢者の皆さんが安心して利用できるよう、暮らしに寄り添った地域公共交通の充実に努めてまいります。
22	中川原	R7. 8. 16	07高齢者	免許証自主返納について	65歳以上での免許自主返納でメリットはあるか。	危機管理課 福祉課	松前町では、運転免許自主返納事業により、タクシーチケット等を発行しています。 また、愛媛県警においては、「運転経歴証明書」による、支援事業所等で様々な特典が受けられるようになっています。